

# アフガニスタンを知って、 そして忘れないで！



6月12日（水）四郷学院（後期課程）で、国際理解出前講座を実施し、9年生55名が参加しました。講師は、アフガニスタンと日本を何度も往復し、義肢を届ける活動を長年続けている春木信韻さんです。

アフガニスタンは中東に位置する内陸国です。3,000メートルを超える山々が連なり、雪解け水が豊富で農業が盛んな国でした。小学校の教科書にも掲載されている「せかいいちうつくしいぼくの村」は、アフガニスタンの美しい自然が描かれている絵本です。

1979年からソビエト社会主義共和国連邦が侵攻し、その後90年代には激しい内戦があったため、その間に埋められた地雷や不発弾がたくさんあります。地雷撤去の様子を撮影した動画や写真を交えながら、地雷の恐ろしさや地雷を撤去する難しさを伝えていただきました。

最近では、3Dプリンターで作る義肢の開発に取り組まれています。うまくいけば、現地に行かなくても壊れたパーツを作り直したり、安く義肢を作って多くの人々に届けたりできるようになるそうです。試作品の義手を持って来ていただき、作り方や使い方なども説明していただきました。

終了後には、生徒ひとりひとりが義足に触れ、重さや質感などを確かめていました。義足は思ったより重く、多くの生徒が驚きの声を上げていました。体を支えるため、強度が必要なので、重くてしっかりした作りになっています。

この講座が、世界の平和について考えるきっかけになればと思います。

